

パブリックコメントによるご意見及び考え方・計画への反映等について

1. パブリックコメント概要

- (1) 実施期間 令和5年12月11日（月）から令和6年1月19日（金）
- (2) 募集方法 意見書提出（郵送、FAX、Eメールなど）及び電子申請
- (3) 意見件数 11名 24意見

2. ご意見への対応・考え方

No.	年代	意見概要	意見に対する考え方	計画への反映等
1	20代女性	現在高岡駅等で実施されているレンタルサイクル事業は利用時間が短く、返却場所も限られている。利用時間が限定されない利便性の高い事業を希望する。	現在、レンタルサイクル事業に加え、民間事業者等との連携により、電動アシスト自転車が24時間利用可能なスマートサイクル事業を実施しています。今後も利用状況を踏まえながら、ニーズに促した取り組みを進めていきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P31 公共交通を活かしたにぎわいの創出の中で、自転車の利活用（サイクル&ライドやレンタルサイクル等の推進）について記載しています。
2	20代女性	公共交通による移動利便性向上を図るための運転手の担い手確保に向けて、賃金の上昇につながるような手当や補償してほしい。	「施策2－4 担い手の確保」の中で、交通事業者の人材確保に向けた様々な取り組みについて、国や県とも連携して支援していくこととしており、労働環境の改善に向けた支援についても検討していきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P28 担い手の確保の中で、担い手確保に向けた取り組みの推進について記載しています。
3	20代女性	ノーマイカー運動の推進にあたっては、高齢者が車を利用しなくても買物ができる移動スーパーや配達サービス等の周知など、生活用品が購入できる方法についても提案していくべき。	県HPにおいて県内で利用できる買い物サービスの一覧を掲載しており、本市においても、市HPに掲載するなど移動スーパーや配達サービス等の情報発信について検討していきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。

No.	年代	意見概要	意見に対する考え方	計画への反映等
4	男性	市が打ち出す公共事業として信頼性を維持しながら、乗り合いや自家用車の流用などにより、タクシーより安い移動サービスを提供してほしい。	「施策 2－2 市民協働型地域交通システム普及拡大」により、地域が主体となり、地域の実情に応じた移動サービスの導入を支援していきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P27 市民協働型地域交通システムの普及拡大の中で、市民協働型地域交通システムのエリア拡大、民間事業者と地域との連携による輸送サービスの充実について記載しています。
5	70 代 男性	氷見線伏木駅の高架橋を廃止し、駅構内で列車のすり替えができるよう、複線化することで、高齢者及び身体障害者に対して優しい駅としてほしい。	「施策 1－2 飛越能地域、県西部地域との交通軸の強化」の中で、県や沿線市、交通事業者と連携し、城端線・氷見線の再構築を進めることとしています。再構築にあたっては、駅の利便性向上に向けた取り組みについても検討していきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P25 飛越能地域、県西部地域との交通軸の強化の中で、城端線・氷見線の再構築（城端線・氷見線沿線地域公共交通計画の推進）について記載しています。
6	70 代 男性	氷見線と万葉線が交差しているところに新駅を設けることで、伏木地区の移動利便性の向上や、万葉線、氷見線それぞれを利用した観光客の、氷見、伏木、新湊方面へのアクセス向上につなげてほしい。	「施策 1－2 飛越能地域、県西部地域との交通軸の強化」の中で、県や沿線市、交通事業者と連携し、城端線・氷見線の再構築を進めることとしています。再構築にあたっては、駅の利便性向上に向けた取り組みについても検討していきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P25 飛越能地域、県西部地域との交通軸の強化の中で、城端線・氷見線の再構築（城端線・氷見線沿線地域公共交通計画の推進）について記載しています。
7	40 代 女性	自転車通学をしている学生が、冬期間バス通学をしようとする新高岡駅でバスを乗り継ぐ必要がある。このため、親が学校まで送迎することとなってしまう、負担が大きいので、何とかできないか。	「施策 2－2 市民協働型地域交通システム普及拡大」により、地域が主体となり、地域の実情に応じた、利便性が高く効率的な移動サービスの導入を支援しています。2次交通と連携し、学校への送迎に活用している地域もあり、このような取り組みを通じて、地域の移動利便性の向上につなげていきたいと考えています。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P27 市民協働型地域交通システムの普及拡大の中で、市民協働型地域交通システムのエリア拡大について記載しています。

No.	年代	意見概要	意見に対する考え方	計画への反映等
8	50代 女性	高岡に移住してきた若い大学生のためにも、米島口から富山大学芸術文化学部まで万葉線を延伸してほしい。 また、高岡市のシンボリックな存在となるように万葉線を環状線化してほしい。	現在、富山大学高岡キャンパスへは路線バス「富山高岡經由城光寺線」が運行しており、大学自身が運営するシャトルバスとともに学生の移動手段として利用されています。万葉線については、「施策2-1 都心交通軸・都市交通軸の強化」の中で、利便性向上に取り組むこととしており、安定的な運行体制の維持に向けた取り組みを進めることとしています。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P27 都心交通軸・都市交通軸の強化の中で、万葉線の利便性向上について記載しています。
9	70代 男性	憲法の理念を生かし、安全・安心な地域社会を目指す政策制度を確立し、地方自治の本旨である住民の参加、自治、そして協同による持続可能な地域づくりを目指す交通権が保障された交通政策とすべき。	地域公共交通活性化再生法に基づき本地域公共交通計画を策定し、各交通施策を推進します。また、本市においては、鉄軌道、路線バス等の骨格的公共交通と、これらを補完する市民協働型地域交通システムによって、市域全体の移動利便性を高める「高岡型コミュニティ交通」を確立し、「ヒト・モノ・コトの循環を支える公共交通ネットワークを構築することで、持続可能な未来都市高岡を目指しています。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P22 基本理念に「高岡型コミュニティ交通」の考え方について記載しています。
10	70代 男性	ダイナミックシェアードバスの取り組みによって年間の需要変動に耐えうるよう配車スケジュールと運賃に柔軟さを持たせることで利便性と事業性の両立を図ってほしい。 ※ダイナミックシェアードバス：地域の方との対話を通じ、生活スタイルに基づくニーズの高い出発地・目的地及び時間を設定し、移動ニーズを集約することで、財政面の負担軽減を図り、サービスの持続可能性を確保する取組。	骨格的公共交通（鉄軌道や路線バス等）と接続する交通サービスを、地域住民が主体となって、地域の実状に応じた交通モードや運行ダイヤ、料金体系を検討し、運営する「市民協働型地域交通システム」は、運行形態は異なるものの、ダイナミックシェアードバスと同様の考えに基づく取り組みであり、この市民協働型地域交通システムの普及拡大に、今後も積極的に取り組みます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P27 市民協働型地域交通システムの普及拡大の中で、市民協働型地域交通システムのエリア拡大について記載しています。

No.	年代	意見概要	意見に対する考え方	計画への反映等
11	40代男性	市内全ての公共交通共通のフリーパス発行や公共交通機関の料金をドルなどで併記するなどして、外国人観光客向けサービスの向上を図るべき。	「施策3-2 デジタル技術等を活用したサービスの充実」の中で、観光型 MaaS や JR パス等の民間事業者が提供するサービスと交通事業者との連携を図り、乗り放題チケットの充実など、外国人観光客をはじめとする来訪者向けのサービスの充実に取り組みます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P31 デジタル技術等を活用したサービスの充実の中で、観光型 MaaS の活用について記載しています。
12	30代男性	タクシーの担い手不足解消のため、免許返納者や障害手帳所持者を対象に輸送サービスを提供する特定非営利活動法人等の設立する者に対し、車両の無償貸与、燃料補助をしてはどうか。	「施策2-2 市民協働型地域交通システム普及拡大」により、地域が主体となり、地域の実情に応じた移動サービスの導入を支援しており、引き続き、主体となる地域団体に対して、実証運行や本格運行等への支援に取り組みます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P27 市民協働型地域交通システムの普及拡大の中で、市民協働型地域交通システムのエリア拡大について記載しています。
13	20代女性	在来線と新幹線の乗り継ぎ改善や高岡駅・新高岡駅の一体化のため、城端線高岡駅-新高岡駅間で10分間隔のシャトル列車の運行をしてほしい。	現在、高岡駅-新高岡駅間は路線バスが平日70往復しており、両駅でのデジタルサイネージやウェブサイト「とやまロケーションシステム」等を通じて周知に努めています。このほか、「施策1-2 飛越能地域、県西部地域との交通軸の強化」の中で、県や沿線市、交通事業者と連携し、城端線・氷見線の再構築を進めることとしており、今後、利便性の高い運行ダイヤなどの具体的な取り組みについても検討していきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P25 飛越能地域、県西部地域との交通軸の強化の中で、城端線・氷見線の再構築（城端線・氷見線沿線地域公共交通計画の推進）について記載しています。
14	20代女性	あいの風とやま鉄道の利用者を増やすために、市内の各駅に無料のパーク＆ライド駐車場や安価なコインパーキングを整備してほしい。	本市では、民間事業者と連携し、万葉線の電停周辺の商業施設駐車場を活用したパーク＆ライドに取り組んでいます。「施策4-3 生活の中に公共交通を取り入れる取り組みの推進」では、引き続き、パーク＆ライドの取り組みを推進していくこととしており、民間事業者とも連携し、効果的な事業手法を検討していきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P33 生活の中に公共交通を取り入れる取り組みの推進の中で、パーク＆ライドの推進について記載しています。

No.	年代	意見概要	意見に対する考え方	計画への反映等
15	20代女性	敦賀開業によって新高岡駅の利用拡大が見込まれるため、新高岡駅周辺の駐車場を追加整備してほしい。	現在、新高岡駅周辺には約 800 台分の市営駐車場が整備されており、利用状況を踏まえると敦賀開業による利用拡大にも対応可能と考えています。一方で、繁忙期には混雑が生じることが予想されるため、公共交通機関のご利用や新幹線利用者に対する高岡駅駐車場の無料サービスの周知を図るなど、混雑緩和につなげていきます。	いただいたご意見は、関係部局へも情報共有を図り、参考とさせていただきます。
16	20代女性	計画策定の基本理念の中で、何のための交通の便であるのか、目的を明確にした方が良い。 例 ・高岡市民が健康で文化的な最低限度の生活を営むことを守る ・高岡市内の経済活性化 等	本計画の基本理念では、「人口減少・少子高齢化の中にあっても、持続可能で安心して暮らし続けられる都市」を目指して、「コンパクト・アンド・ネットワークのまちづくり」を進めることとしており、この中で、公共交通を「それぞれの機能、拠点を結ぶ重要な役割を担うもの」として位置付けています。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P22 基本理念の中で、「公共交通はそれぞれの機能、拠点を結ぶ、重要な役割を担っています。」と公共交通の役割について記載しています。
17	20代女性	公共交通機関の利用者数を増やすためには、自動車移動と同等以上のものでないとならない。交通モード間の乗り継ぎ改善はとて面白い施策のため、身体が不自由な人の利用も想定したものにしてほしい。	「施策 3－1 交通モードの乗継改善」や「施策 3－4 交通施設・車両設備等の改善」によって、公共交通の利便性向上に取り組むこととしており、バリアフリーの視点も踏まえて、取り組みを進めます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P32 交通施設・車両設備等の改善の中で、バリアフリー化など利用環境の改善やバリアフリー車両の導入について記載しています。
18	20代女性	「コンパクト・アンド・ネットワークのまちづくり」は、「スムーズ、シームレス」な乗り換えが可能になること前提となるため、「スムーズ、シームレス」を必ず同時並行で進めてほしい。	「施策 3－1 交通モード間の乗継改善」において「②公共交通のシームレス化」を掲げているほか、「施策 3－2 デジタル技術等を活用したサービスの充実」の中で、使い勝手が良く、快適なサービスの実現に向けて、取り組みを進めます。	計画に反映します。 P31 交通モード間の乗継改善の中で、「交通事業者と連携し、鉄道駅、電停、バス停における乗継利便性の向上を図り、スムーズかつシームレスな地域公共交通ネットワークの構築に努めます」を記載。

No.	年代	意見概要	意見に対する考え方	計画への反映等
19	70代女性	高岡の中心市街地がどこを指すのかを明確にしてほしい。また、中心市街地の活性化にあたっては、商店街の店主を動かし、住人が汗をかく、行政・市民との真の協働でなければならない。	本市では、高岡市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地の位置及び区域を設定し、活性化に向けた各事業に取り組んでいます。地域公共交通計画の策定にあたっては、「P1 計画の位置づけ」に記載するとおり、中心市街地活性化基本計画をはじめとする各種計画を踏まえた交通施策を推進します。	いただいたご意見は、関係部局へも情報共有を図り、参考とさせていただきます。 P1 計画の位置づけの中で、市の関連計画として中心市街地活性化基本計画を記載しています。
20	70代女性	末広町を走る自動車を制限し、公共交通のみを通すことで歩行者天国も含めて人々が集まり行き通うまちにしてほしい。	「施策3-3 公共交通を活かしたにぎわいの創出」の中で、ウォーカブルなまちづくりを推進することとしており、「居心地が良く歩きたくなる」空間づくりの促進に向けた取り組みを推進します。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P31 公共交通を活かしたにぎわいの創出の中で、ウォーカブルなまちづくりの推進について記載しています。
21	70代女性	利用者（子ども・としより・障がい者・女性など）から幅広く利用の意見を聞いて、安全性・利便性を基本に、利用者が利便性を感じるようにしなければ進展はない。また、利用者からの意見のみならず、県外から来た旅行客からも利便性についてヒアリングを行ってほしい。	計画の策定にあたっては、令和4年度に市民アンケートやビッグデータ分析等を行い、市民の皆様の移動実態や公共交通ニーズの把握に努めたほか、新高岡駅利用者へのヒアリングや旅行会社との意見交換等を通じ、観光客をはじめとする来訪者の動向把握も行ったところです。本計画では、評価指標として公共交通利用者の満足度を掲げており、今後、市民アンケートを通じて、継続的に公共交通利用者のご意見を聞く機会を設けていきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P36 評価指標として、公共交通利用者の満足度を記載しています。

No.	年代	意見概要	意見に対する考え方	計画への反映等
22	70代女性	公共交通機関に対する運行事業者や市、民間企業との連携を強化してほしい。利用者の減少や効率性により廃線を考えるのではなく、自家用車から公共交通へ移行するための工夫(本数が15分から20分おきにあることや、使いやすいこと等)を考えるべき。	公共交通の維持・活性化に向けては、これまでも、交通事業者や交通機関の沿線自治体、県とも連携し、取り組みを進めています。今後、計画に掲げる施策のフォローアップを含め、行政、交通事業者、民間団体等で構成される高岡市地域公共交通活性化推進協議会の場合も活用して、連携強化に努めていきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P37 推進体制として、高岡市地域公共交通活性化推進協議会の役割を記載しています。
23	70代女性	市民協働型地域交通システムは住民の負担も大きいのではないかと。政治は住民のためにあり、利益を生むものでもないで、住民が安全・安心に暮らす基盤として考えるべき。	市民協働型地域交通システムは、地域の実情を把握している地区住民が主体となって、財政面や運営面等、地区にかかる負担についても検討した上で、地区に適した交通モードを導入いただいております。この普及拡大にあたっては、事業費への支援を含め、地域をきめ細やかにサポートしていくことで、安全・安心に暮らせる基盤づくりを進めていきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P27 市民協働型地域交通システムの普及拡大の中で、市民協働型地域交通システムのエリア拡大について記載しています。
24	70代女性	免許返納者に対する手当が薄く返納しにくい現状を踏まえ、長期間・何にでも使える金券など色々な手当てを工夫してほしい。	これまで取り組んできた運転免許返納支援制度や高齢者向け定期券の割引販売といった制度の運用のほか、「施策2-3 公共交通の維持・発展に向けた協力体制の構築」において交通事業者、他分野の民間事業者との連携によるサービスの充実を検討していくこととしており、様々な関係者と協働しながら、免許返納された方も安全・安心に移動できる環境整備に取り組んでいきます。	いただいたご意見は、今後具体的な事業を検討する際の参考とさせていただきます。 P27 公共交通の維持・発展に向けた協力体制の構築の中で、交通事業者と異業種事業者の連携によるサービスの充実について記載しています。